

ビデオ会議/Web会議システム提案書



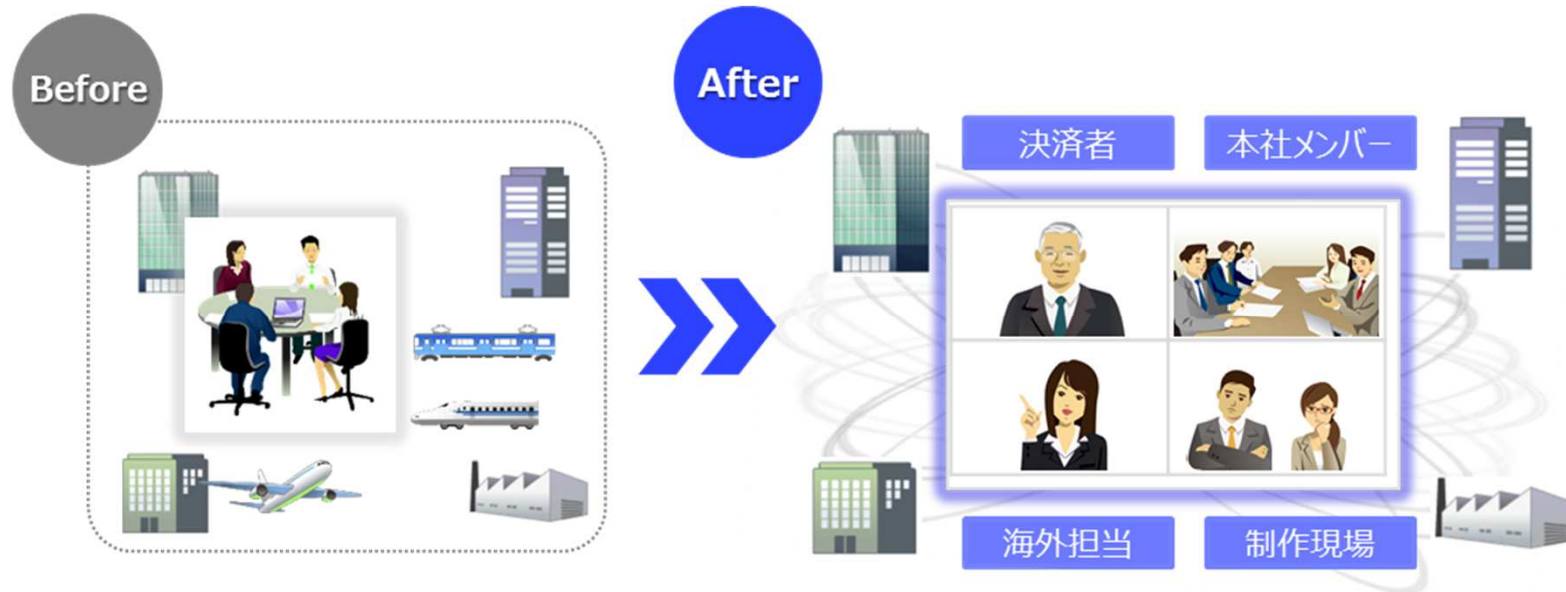
中島商事株式会社

ビデオ会議/Web会議システムとは

ビデオ会議/Web会議システムとは、テレビ会議システムとも言われ、**離れた場所にいる複数の方々と、まるで目の前にいるかのように打ち合わせや会議ができるシステム**のことを指します。

忙しくてなかなか時間が取れない決裁者や、遠くて会うのが難しい海外拠点や生産現場とも手軽にコミュニケーションが取れますので、**業務のスピードアップと確実な情報共有を行うことができます。**

政府主導で「**働き方改革**」が叫ばれる中、**テレワークの必需品**でもあるビデオ会議/Web会議システムは非常に注目されており、導入を検討する企業が急増しています。



会議システムの導入により期待される効果

コストの削減

交通費と移動時間を大幅カット

出張に伴う交通費や宿泊費だけでなく、移動に費やした時間の人件費もコストと考えると、ビデオ会議を行うことによって大幅なコスト削減を図ることが可能です。



ワークスタイル変革

場所や場所を選ばずコミュニケーション

テレワークや、外出先からモバイルでのアクセスなどビデオ会議・Web会議システムは単にコスト削減だけではなく、ワークスタイルの変革としても様々な用途で利用されています。



業務効率化

情報伝達の迅速化、正確性の向上

同時に複数の拠点、関係者へ情報伝達が行えるので、地域間や役職による情報取得の時差や伝達内容の相違といった問題を防ぐことができます。また移動時間を大幅に削減できるためその分の業務の効率化を図ることができます。



BPC対策

様々な状況下での業務を可能に

天候事情や交通事情、病気などにより訪問が困難な地域とのコミュニケーションや、経営者層が1箇所に集まることを回避するために利用することができます。



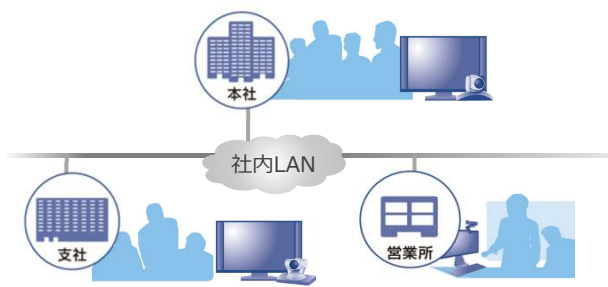
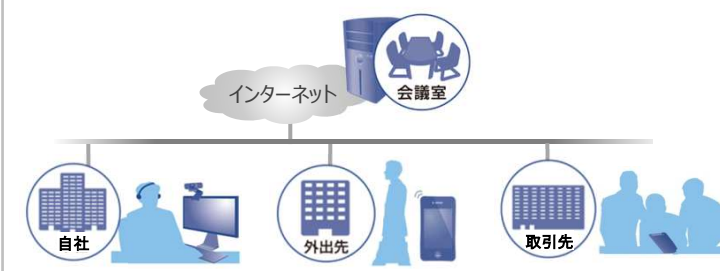
ビデオ会議とWeb会議の違い①

企業活動におけるコミュニケーションには様々な形態があります。
 想定されるパターンを具体的に挙げることで、適した機器の御提案が可能となります。

	ビデオ会議システム	Web会議システム
誰と？	社内の拠点、またはグループ会社と 主に社内網やインターネット回線を利用し、ビデオ会議専用の機器どうしを接続します。 	社内の拠点だけでなく、取引先やお客様など社外と インターネット回線を利用して、主にPCからWeb上の仮想会議室に接続します。 
どこで？	社内の会議室や打ち合わせスペースなど決まった場所で ビデオ会議専用機器（カメラ、本体、マイク）とテレビ、プロジェクターなどのモニターを、基本的には会議室に常設して使用します。機器類をスタンドにセットすれば、フロア内で移動することも可能です。 	自席や外出先、自宅など不特定な場所で PCやスマートデバイスがインターネットにつながる場所であれば、どこでも使用できます。 
どのように？	・機器の設置された会議室に行くだけで誰でも簡単に ・実際に会っているかのように ・製品の現物や資料などを見せながら 高倍率ズームのハイビジョンカメラ映像で臨場感ある会議を実現。PCを本体に繋ぐだけで資料の共有も行うことができ、接続やカメラの操作はリモコンで誰でも簡単に行えます。 	・PC、タブレット、スマホなど様々な機器を利用して ・いつでもどこでも手軽に ・資料データを共有しながら 機器を選ばず接続でき、ログインIDを持たない社外の方もゲスト招待が可能です。使い慣れた機器で接続すれば、操作も難しくはありません。 

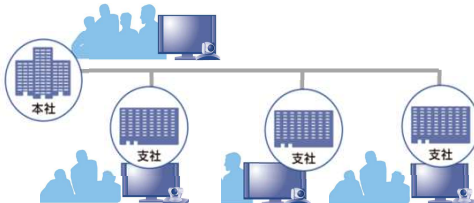
ビデオ会議とWeb会議の違い②

ビデオ会議とWeb会議は、価格だけでなく機能や接続形態などにそれぞれ特性がありますので、お客様のご要望に適したサービスをご提案ください。

	ビデオ会議システム	Web会議システム
	高品質の臨場感あふれる会議が可能 ＜支店会議、役員会議などに＞ 	いつでもどこでも、会議・共同作業が可能 ＜自席・小規模会議・社外との接続に＞ 
接続方法	専用端末をテレビやプロジェクターなどのモニターに接続、おもに専用回線を利用しIP接続 ＜通信プロトコル：国際標準（H.323、SIP）＞	PC、スマートデバイスからインターネット経由で仮想会議室に接続 ＜通信プロトコル：独自＞
利用場所	おもに社内の会議室 各地の会議室を接続し遠隔会議が可能	自席、外出先、自宅など 場所を選ばず遠隔会議が可能
対応人数	1拠点あたりの参加者が大人数でも優れた映像・音声品質で対応可能　＜大人数×数拠点＞	基本的には1拠点あたりの参加者は2-3名まで 拠点数は多数接続可能　＜少人数×多拠点＞
資料の共有	PCを機器に接続し、表示のみ可能	書き込み、遠隔操作、送信などが可能
メリット◎	高画質・クリアな音質 専用リモコン・タブレットで操作が簡単	初期導入コストが安い 資料共有、デスクトップ共有など多機能
デメリット△	利用する場所が限定される 多拠点で会議を行う場合は高価なサーバーが必要	ネットワーク環境によって画質・音声が変わる 商品によっては利用者毎にインストールが必要

ビデオ会議とWeb会議それぞれの活用シーン例

ビデオ会議、Web会議システムともに、様々な遠隔地との会議や打ち合わせにご利用いただけます。
実際にご導入頂いているお客様の例をまとめました。

ビデオ会議システム	Web会議システム
役員会議 に利用する 高品質なビデオ会議なら、重要な会議でも相手の表情や何気ない一言を漏らさず共有できます。 	お客様との商談 に利用する 場所や利用者を選ばないWeb会議なら、あらゆる商談に素早く柔軟に対応できます。 
支店長会議 に利用する 各拠点にビデオ会議があれば、代表者だけでなく、その場で担当者呼び詳細の確認することも。 	外注先との打ち合わせ に利用する ホワイトボードや遠隔操作機能のあるWeb会議なら、資料の修正など共同作業もスムーズに行えます。 
製品開発会議 に利用する ビデオ会議なら、大人数で製品の現物や資料を大きく表示しながらの会議が可能です。 	在宅勤務時の打ち合わせ に利用する Web会議を利用すれば、在宅勤務時も社内にいるようにあらゆる業務を行うことができます。 

ビデオ会議の接続機器構成と画面表示例

ビデオ会議本体にPCや書画カメラ（現物投影機）を接続することで、会議室の映像だけでなく会議資料や製品映像を他の拠点へ送信することができます。

データ受信側拠点では、モニター出力が2枚以上の機種であれば会議室映像と資料を分けて表示することが可能です。

送信側



受信側 モニター1枚



受信側 モニター2枚



受信側 モニター+プロジェクター



■ビデオ会議端末

資料送受信機能は全ての
現行機種に標準搭載

- テレビ1台
- ディスプレイスタンド1台
- PC
- 書画カメラ

■ビデオ会議端末

機種は問いません

- テレビ1台
- ディスプレイスタンド

■ビデオ会議端末

モニター出力2枚可能機種

- テレビ2台
- ディスプレイスタンド2台

■ビデオ会議端末

モニター出力2枚可能機種

- テレビ1台
- ディスプレイスタンド1台
- プロジェクター1台

Web会議の接続機器構成と画面表示例

Web会議システムは、1人で参加する際にはノートPCやスマートデバイスに付属しているカメラ及びマイクスピーカーでも十分な役割を果たしますが、2人以上でご利用の場合は別途USBカメラやマイクスピーカーを追加頂くことで非常に高品質な会議が可能となります。

また、映像を大型モニターやプロジェクターに出力することで大人数での参加も可能となります。

自席や外出先 (1名)



- カメラ付きノートPC
またはスマートデバイス
- ヘッドセット、イヤホン

小会議室 (~8名程度)



- PC
- USBカメラ
- 小型マイクスピーカー
- テレビ等ディスプレイ

中会議室 (~16名程度)



- PC
- 高性能USBカメラ
- 広範囲集音
マイクスピーカー
- テレビ等ディスプレイ

大会議室 (~30名程度)



- PC
- 高性能USBカメラ
- 広範囲集音
マイクスピーカー
- テレビ等ディスプレイ
またはプロジェクター

Web会議をもっと便利にご利用頂くために

Web会議システムは、1人で参加する際にはノートPCやスマートデバイスに付属しているカメラ及びマイクスピーカーでも十分な役割を果たしますが、2人以上でご利用の場合は別途デバイスを追加頂くことで非常に高品質な会議が可能となります。

中島商事(株)では様々なメーカーの製品を取り扱っておりますので、お客様の環境に沿ったデバイスをご提案させていただきます。

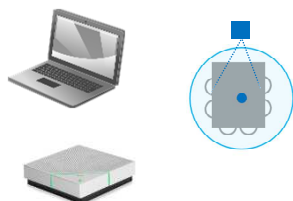
小スペース (数名)



PC内蔵カメラ+マイクスピーカー

ノートPC
内蔵カメラ

半径3m
集音



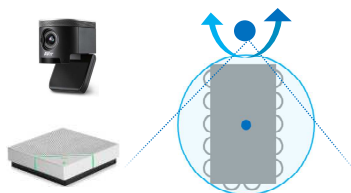
小会議室 (~8名程度)



USBカメラ+マイクスピーカー

4倍ズーム
画角94°

半径3m
集音



中会議室 (~16名程度)



USBカメラ+マイクスピーカー

12倍ズーム
260°パン

半径3m
集音

2個



大会議室 (~30名程度)



USBカメラ+マイクスピーカー

12倍ズーム
260°パン

半径5m
集音

5個



中島商事(株)のメリット 検討時はもちろん、導入時・導入後もサポート

【こんなお悩みがあればご相談ください】

- ・テレビ会議とWeb会議どちらが良いか知りたい
- ・費用対効果が見合うか知りたい

お客様のご予算・ご要望に合わせて会議に必要な解決策をご提案



【このような作業はお任せください】

- ・会議システムの搬入・設置
- ・専用ネットワークの構築
- ・会議に必要な機器の追加
- ・トラブルへの対応 など